

令和元年度産業技術連携推進会議
近畿地域部会デザイン分科会
議事録

- 1 日 時 令和元年11月28日(木) 14:00~16:30
- 2 場 所 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 ホールD
(〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町91)



- 3 挨拶 近畿地域部会デザイン分科会 会長
地方独立行政法人京都市産業技術研究所
理事・研究室長 杉浦 和明
(代理 同・知恵産業融合センター長 研究副室長 安藤 信幸)

4 議 事

① 各機関の事業，活動報告

- ・取組事例，研究課題などについて各機関より報告

1. 大阪府産業デザインセンター

「大阪府デザインオープン・カレッジ2019」「なにわマーケティング大学」の紹介。今年度から大阪産業経済リサーチセンターとの兼務となり、「中小企業のためのデザイン経営」について経済系の研究員との共同研究を開始する。

2. 京都府中小企業技術センター

新工芸研究会の運営により伝統産業従事者のデザイン開発支援。(公財)京都産業21のビジネス交流フェアと連携しデザイナーの仕事を事業者に紹介し交流の場を作る。映像制作技術講習会も開催。

3. 兵庫県立工業技術センター
科研によるデジタルハンドシミュレータによるグリップデザイン開発の他、JST・未来社会創造事業、10年ぶりの県予算の重点領域研究等の紹介。研究成果を学会発表できるようになり、感性工学学会などで随時発表している。
4. 滋賀県工業技術総合センター
担当職員の配置、技術相談、機器利用、依頼試験、研究開発などの実績状況報告及び研究開発の事例紹介。所内のインクジェット式と熱溶解式の3Dプリンタの造形物について強度試験を実施。
5. 福井県工業技術センター
工業技術センターと（公財）ふくい産業支援センターによりデザイン関連事業を実施。工業技術センターではUVプリンタによる蒔絵技術の開発研究に取り組む。産業支援センターでは産地新ブランド創出・流通サポート事業で中川政七商店を招聘した。
6. 京都市産業技術研究所
デザイン関連の研究開発（重点的、一般）および人材育成事業、研究会活動の紹介。重点研究ではデジタル技術を活用した伝統産業支援の取り組みを紹介。

② 意見交換

- ・次年度第27回デザイン分科会開催協力について
令和2年6月18日（木）～19日（金）で大阪にて開催。参加の方よろしく。
- ・こらぼんWEBのサーバー管理および運営の継続について
「こらぼん」は、当初冊子版だったが予算がなくなり、滋賀県のサーバー運営協力によりウェブ版に移行した経緯がある。サーバー管理を担当していただいている野上さんが当分は継続可能との意向である（design-kinkiのメンバーリングリストも合わせて）。
運営の今後について春の全国の分科会でも検討事項になるが、近畿でも引き続き検討する必要がある。
- ・各機関のサーバー等の運用方法について
各機関とも独自で運用（県庁などとは別で運用）
 - ◇大阪府産業デザインセンター：業者に委託（年度末に比較見積による契約業者決定）。運用管理にはシステムエンジニアを週一で非常勤雇用。
 - ◇京都府中小企業技術センター：所内でサーバーを構築。
 - ◇滋賀県工業技術総合センター：所内でサーバーを構築。web更新等は、concrete5を活用。
 - ◇福井県工業技術センター：ふくい産業支援センターのサーバーを間借りしている。web更新等は、wordpressを活用。
 - ◇京都市産業技術研究所：Google Appsを活用。

③ 近畿地域部会デザイン分科会について

- ・令和元年度活動報告
別紙1により活動報告の承認。
- ・令和2年度事務局の選任
近畿地域部会デザイン分科会運営要領に基づいて、福井県の選任。
- ・令和2年度活動方針（案）について
別紙2により活動方針の承認。

5 京都市産業技術研究所の施設見学 下記施設の見学を行った。

		
<p>製織システムチーム (B2F 製織実験室)</p>	<p>色染化学チーム (4F 色染基礎実験室)</p>	<p>窯業系チーム (5F 陶磁器・釉薬研究室)</p>
	<p>デザインチーム</p>  	
<p>レーザー加工機，カッティング プロッタ活用の事例紹介</p>	<p>3Dプリンタとその事例紹介</p>	<p>京友禅（手描）後継者育成研修 の紹介</p>